

ミアソン寮の建設資金ご協力に感謝

会員(北海道) 相田陽子

5月29日に北海道新聞夕刊に記事が掲載され、すぐに札幌の男性から亡くなられたお嬢様からの寄付ということで50万円提供のファックスが入った。有難い申し出に苦労して記事を書いた甲斐があったと思った反面、亡くなられたお嬢様からということで、複雑な気持ちでもあった。涙をぬぐって、一息入れてから電話をした。25歳で亡くなられたお嬢様が残したお金なので、価値あることに使いたいとずっと考えていらっしやっただ。そこへ私の記事が目にとまり、これならと連絡下さったのだ。ただただ感謝するしかない。

また、会員の中からも寄付を申し出て下さった方々がいた。本当にありがとうございました。

ミアソンでは工事が始まっている。必要な資材はほぼ購入したとのこと。3名の大工を雇い、寮生の親や集落の人たちが力を出し合って、一日も早く完成させたいと頑張っているそうだ。

3月に卒業したアトゥモロックの8名の卒業生のうち、一名はスララの私立へ進学し、もう一名は結婚で進学を諦めたので、6名がミアソンのハイスクールに進学した。今は建築中の寮の近くにある家を仮の寮にしてそこから通学している。

現地からの報告で特に嬉しく思ったのは、以前に卒業した近隣の集落の7名がハイスクールで勉強したいと入寮を懇願し、CMBが承諾したことだ。奨学生ではないので、経済的には大変なことだと思う。しかし、不可能な条件が一つ消えれば、勉学の意欲ある者は困難を承知で進学するとわかったのは、支援する側にとっては励みだ。

HPから入会して下さった方。電話で、現地訪問をして支援の方法を考えたいと申し出て下さった方。記事をきっかけに入会してくれた私の友人もいる。積極的に反応して下さった方々がいたのは、大変ありがたく、喜びと安堵の気持ちでいっぱいである。今後も微力ながら、会のためにできることをしていきたいと思う。

*今回の相田さんの新聞投稿、その後の現地からの報告に関しては、事務局から各種資料を提供させていただきました。会員の皆様のなかで、ほかにもこのような広報の機会、ご計画がありましたら、写真、その他の資料提供やCMBからのメール報告も転送させていただきます。事務局までお気軽にお申し付け下さい。

— 2001-2002年度奨学生情報がとどきました —

<CMB運営の小学校>

- * ビラーン族のための私立小学校は、今年は以下の3校です。
(#ムンク分校は3月末閉校。生徒はバリオ・ビラーン公立小学校に編入)

小学校名	在籍生徒数 (教師数)	本会奨学生
ラムアス (全学年)	133 (3)	37
アトゥモロック(全学年)	99 (3)	26
キアミ(3年生まで)	63 (2)	8
キナム、バリオビラーン (公立)	公立の生徒総数不明	19



- * なくなる早婚の風習：昨年の奨学生中途退学理由の内訳は、病気と学習意欲喪失が各1名、婚約・結婚が3名です。
農地に次ぐ貴重な財産となる水牛(カラバオ)を、ドリ(結納)として期待できるため、学業半ばで、しかも12、3歳で結婚させる親がいます。今回の結婚退学は、すべてアトゥモロックのケースでした。リンダ先生の必死の説得も実らなかったとノリ校長は伝えてきました。

親が熱心で中退者も少ないキアミ小学校。しかし、教師も校舎も足りないの、ここは3年生まで。開校4年目の今年、4年生になった1期生は、少し離れたキナム公立小学校に編入しました。(写真のドリ先生は、教員資格取得のため、3月に退任した)



菜園手入れの奨学生(ノビシエイトの朝)

<ハイスクール・カレッジ奨学生情報>

ノビシエイト寮 (G.サト市)	St.ガブリエル寮 (マベル市)	スララ寮 (スラ町)	ミアソン寮 (ツピ町ミアソ)
公立カレッジ 2名	私立カレッジ 5名	私立 ハイスクール 12名	公立ハイスクール6名。 奨学生以外の学 生も入寮予定(相 田さんの報告参)
私立カレッジ 1名	看護学校 2名		
専門学校 2名	専門学校 2名		
公立ハイスクール 14名	公立ハイスクール 16名		

*この他、助成金で再教育の元教師3名もガブリエル寮に滞在、カレッジに通います。

ミニQ&A: Q:公立小に入った奨学生への奨学金は? A:CMBを通じて、親に手渡され、報告も受けます。